

第26回まちづくり懇談会

1. 懇談会のテーマ

- ① 子どもたちが輝けるまちへ ～子育てしやすいまちを目指して～
- ② 安全、安心に暮らせるまちを作るために ～協働して出来ること～

2. 日時・会場

令和5年11月12日（日） 午後2時～4時

町役場 東分庁舎2階 第1会議室

（※オンライン参加可で募集したが、全ての応募者が対面参加を希望）

3. 対象

在住、在勤、在学者 中学生以上の人 15人以内

（応募者多数の場合、初参加者を優先した上で抽選）

4. 参加人数 7人（応募者 12人）

5. 町出席者、コーディネーター

木村町長、杉下コーディネーター（第8期まちづくり推進会議 会長）、
畑村副町長、菊地町民部長、岡野町民協働課長、
町民協働課協働推進担当職員（4人）

①子どもたちが輝けるまちへ ～子育てしやすいまちを目指して～

参加者	町長	懇談後の所管課の 確認・補足
<p>(コーディネーター)</p> <p>1つ目のテーマ「子どもたちが輝けるまち～子育てしやすいまちを目指して～」について、1人2分ずつご発言いただき、町長にコメントを求めたいと思います。</p>		
<p>【子育て支援】</p> <p>私の子どもが小学校に通っており、子育てをする中で、町や県、国から手当や支援があるのですが、費用面の支援が多いと感じます。それ以外の学校行事の役割負担が大変なので、そういったものを簡素化、ウェブ化することで、もっと子どもたちと触れ合う時間を作ることが出来ると感じます。</p>	<p>小中学校は義務教育です。義務教育とは、国の文科省の学習の指導要綱、指導要領があり、教育のプログラムも決まっています。校長先生や教頭先生の方針によって、特色を出す学校もごさいます。子どもと触れ合う時間について、夏休みや春休みがありますが、通常の期間になると、学校の授業をタイトな時間割の中でやっています。町はコンパクトな町域なので、そこまで通学時間はかかりませんが、学校側としては、教育課程の中で子どもたちに授業をし、多くを学んでいただくという思いが強い分、厳しい時間設定をしています。</p> <p>子どもと触れ合う時間の少なさについて、どのような対応ができるのか、教育委員会からお答えを差し上げた方がよろしいかと思ひます。</p>	<p>教育政策課 社会教育担当</p> <p>学校行事に係る保護者の役割分担については、PTAがその一部を担う場合もあるようですが、コロナ禍での経験（学校行事やPTA活動の自粛等）を踏まえ、PTAの各種活動の必要性や保護者の役割分担、実施（開催）方法などについて、見直しを行っているPTAもあると伺っております。</p>
<p>【小中学生の荷物の軽量化】</p> <p>通学路の安全、安心について、学校から持ち帰るものが非常に多い。特に体の小さい小学校1年生から3年生ぐらだと、教科書を毎日持ち帰るのが大変です。夏休みに入ると、ヒマワリや鉢植えを持ち帰ります。何回か途中まで手伝ったこともあります。改善してほしいと思うのですが、学校、町、教育委員会、国、どこで決めているのでしょうか。それらについて意見を言う場所が分かりやすいいろいろな人の思いや考えが伝わり、より良くなっていくと思ひます。</p>	<p>確かに子どもたちを見ていると、非常に大きなバッグを背負っています。今、子どもたちはGIGAスクールとして、授業でタブレット、パソコンの小型のものを使っており、これからデジタル、DXの時代に移る中で、改善していく必要を十分実感しております。自分も小中学生の頃、重い荷物を持っていたので軽量化できないかと思ひますが、DXという時代の中で、これから変わってくると思ひますので、その辺も教育委員会にお伝えしたいと思ひ</p>	<p>道路課 管理担当</p> <p>通学路の歩道の整備については、優先順位を定め可能な限り整備を行っているところです。しかしながら、用地の確保には多くの時間と費用、沿線住民のご理解とご協力が必要不可欠であり、早急な対応が困難なのが実情です。</p> <p>そのような場合は</p>

	<p>ます。</p> <p>一番は通学路の安全の確保。町の道路について、県道はほとんど歩道が付いていますが、歩道が設置してある町道は、寒川駅前ぐらいしかない。大規模な開発行為があると、歩道の確保もできますが、大多数が歩道のない、交通量の激しい道路形態になっております。幅員もそんなに広くない。その中で通学路、学校から直線距離で3キロ以内については、通学スクールゾーンの設定もでき、車の運転者にはスピードを落としてもらうような要請もしております。あるいは極端な場合、町の道路状況からすると、歩道スペースを確保するために道路を広げるのは課題があるので、一方通行や時間規制をすることで、歩行者スペースを広げることも今の道路幅員の中でできるのではないかと考えております。道路課に指示し、一度に全部はできませんが、学校に近い所から順次広げる取組をしております。</p>	<p>代替案として、グリーンベルトの設置による歩車分離を通学路を中心に進めております。</p> <p>歩行者の安全確保における費用（グリーンベルト等の設置にかかるもの）は、毎年計上しており、今後も継続して対応してまいります。</p>
<p>【寒川町の歌】</p> <p>何年か前の音楽会で、寒川町の歌を聞きました。1回聞いただけで、全然聞いていない。行事で寒川音頭を踊っているが、寒川町の歌を知らない人がほとんどで、あることすら知らない。町はスイセンの町かもしれないけど、音楽も寒川町の歌もあることをみんなに知らせてほしいと思います。</p>	<p>寒川町の歌は、この部屋の後ろに掲げています。作詞された三沢祐一さんという方は岡田東の方で、そのお子さんが教育長をしていました。元教員でかなり昔から町をよくご存じの方です。作曲は、舘岡一郎さんという方がされました。今までは町の表彰式や特別な式典の時に、女性のコーラスグループが歌ったり、テープで流したりしていましたが、最近は新型コロナウイルスで人を集めることが難しかったので機会も少なくなりました。確かに町民の皆さんで知っている方は限られていると思います。個人的な考えですが、例えば夕方の冬季は4時半、夏季は5時のチャイムが鳴ります。そ</p>	<p>総務課 秘書担当</p> <p>寒川町表彰式の冊子に寒川町の歌の歌詞及び譜面を掲載し、周知の機会としています。</p> <p>町民安全課 災害対策担当</p> <p>防災行政用無線のメロディー放送は、防災行政用無線を適切に運用するための毎日の動作確認という位置づけで放送しており、町のPRをする媒体ではないと考</p>

<p>(町長の回答に対して)</p> <p>お花の展覧会で、木犀の会の人 が3月の発表会の時に、コーラスで歌 ってくれると言っていました。</p>	<p>の時に寒川町の歌を特定の曜日に 流してもいいのかなとも思います。 著作権の問題もありますので、その 辺の確認をしながら、曲、メロディ ーを皆さんに知ってもらう機会を 増やしていきたいと思います。</p> <p>(参加者の意見に対して)</p> <p>歴史があり、大事にしまっておく ものでもないのに、そういう機会を 広めていきたいと思います。</p>	<p>えておりますので、 季節や時間帯等も考 慮し、既存の放送で 対応させていただき たいと考えておりま す。</p>
<p>(コーディネーター)</p> <p>参加者の質問で、通学路や学校から持ち帰るものが多いという中で、どこに相談して良いのか 分からないということでしたが、そういう窓口やワンストップサービスのものが現状、取り組 みとしてあればお知らせいただきたいと思います。</p>		
<p>【子どもの不登校】</p> <p>私の35歳になる子どもが、大学 でのめめごとをきっかけに家に引き 籠もっております。小中学校の不登 校の話も出ていると思いますので、 取り組んでいただき、多くの方がそ ういうことを知っていくことも必要 だと思っておりますので、検討いただけれ ばと思います。</p>	<p>町には、不登校の児童生徒もおり ます。昨今の子どもの環境が複雑、 多様化しており、そういった中 で不登校、引き籠もりになってしま う子どもたちもおります。そういう 子どもたちに対しては、教育委員会 に指導主事があり、相談指導教室が あります。そういう子どもたちを一 堂に集めることはできませんが、子 どもの体調によっては、なるべく登 校できるような環境づくりに日々 努め、指導しています。</p>	
<p>【子育ての補助金】</p> <p>子どもたちが輝ける町というこ とであれば、お金の問題です。例えば3 人目の子以降は本当に大変だと思 いますので、補助や支援をしていく必 要があると思います。</p>		<p>子育て支援課 子ども家庭担当</p> <p>子ども・子育てに 関する経済的支援に ついては、児童手当、 小児医療費助成、出 産・子育て応援ギフ ト、乳幼児紙おむつ 用ごみ袋配布の事業 等を行っております が、新型コロナウイルス 感染症や物価高騰 の影響により子育て 世帯の経済的な負 担が増加してきてい</p>

		<p>る状況です。</p> <p>町では、令和5年10月診療分から、小児医療費助成の対象について、これまでの中学校卒業までを高校生相当まで拡大しました。また今年度、国の「子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金」を支給されない世帯に、町独自の子育て世帯生活支援特別給付金を支給しているところでは、その他、低所得者支援の各給付金のこども加算の支給や、児童手当制度の拡充等を予定しております</p>
<p>【子どもの居場所】</p> <p>年齢は70歳で、介護の仕事をしており、来年資格も取れます。高齢者がこれから元気に、長寿の中で社会に貢献していくことも必要だと思っております。ですから、そういうテーマもあっても良いと思います。</p> <p>私は宮山のマンションができて引っ越してきたのですが、その時はまだ中央公園がなかったです。中央公園ができ、天気の良い日は多くの方が利用されていると思います。こういったものがあれば、子どもが放課後に遊べる場所になるので、交流する場がもっとできればいいと思います。</p>	<p>子どもたちが自由に遊べる場所は、さむかわ中央公園だけではなく、児童公園、街区公園もありますが、大きなオープンスペースのところがありません。開発に伴ってできた公園なので、使い勝手が限られてしまいます。私たちが子どもの頃に公園はなく、適当な広場、空地があると、そこを遊び場として遊んでいましたが、今の子どもたちは整った施設の中でないと行動しにくいようです。子どもたちに自分で場所を探しなさいというわけではなく、そういう自由広場として、例えば大蔵の青少年広場や河原があります。危</p>	

<p>【公園の環境】</p> <p>町の基本目標について、24ページにわたって防災から始まり、最後の観光の項目まで書類を見させていただきました。特に子育てについては、私の子どもは大きくなっており、町でも苦労話はございませんでした。現在は、お子さんたちが親から離れて自由に遊ぶ、公園等で遊ぶ、そういう場面を多く見ます。特に中里公園は、お子さんが学校帰りに、かなり多く集まって遊んでいます。子どもが遊べる公園環境というのが、子育てにつながると思います。</p>	<p>険が伴う場所については、注意が必要になりますが、そういった場所や、これからできる空地があれば、町が借り上げて使うことで、数を増やしていければと思っております。</p> <p>役場の北側にあるさむかわ中央公園。土日は子どもたちでいっぱいです。自由広場なので芝生の広場になっており目立っていますが、一之宮や田端などにも公園があります。ただ、規模が違うので、子どもたちにとって差があり過ぎてしまう点は、課題だと思っています。利用状況を見ながら、考えていきたいと思っております。</p>	
<p>【子どもの居場所】</p> <p>子どもが4人おり、上は中学3年生、下は小学2年生で子育て真っ最中です。自治会から、子どもが輝ける町へというところで、町長の所信表明も見させていただきました。今回4期目で、今まで積み重ねたことを完成させる時期かと思ひ、その中で、「湘南地域で最も子育てがしやすい町」ということがあります。子どもは未就学児、生まれたばかりの子から18歳、大学生を入れれば22歳と幅広い世代があります。児童には、町でもふれあい塾や放課後児童クラブ、子育て支援センターもありますが、放課後の中学生の居場所が無い。塾へ行っている子にはありますが、中高生が遊んで輝ける所が、町にあると良いという話が、先日、コミュニティスクールの運営委員会の中で出ました。放課後、図書館を開放できないでしょうか。家の都合で塾に行けない子どもが行ける所で、町から図書補助員が、週1回は来ています。なかなか開放がうまくできていないところで、運営委員会や地域の自治会、PTAなどが、図書館の開放</p>	<p>中学生の居場所づくり。中学生ぐらいただと、クラブ活動、部活動をやっていないと、居場所を探すのも大変かと思ひます。そういった部分で、学校の活用の仕方、学校開放。これは図書館だけでなく良いと思ひます。一時、様々な事件があり、学校が外部との交流を止めましたが、また少しずつ、元に戻りつつあります。事故が起きないように対策を検討しています。これらは学校を、放課後にも活用できる施設にするためです。</p> <p>しかし、それに伴い、経費を含め、教育委員会の考え方を確認した上で、私としては、もう少し学校を有効活用できればと思ひています</p>	<p>学校教育課 学事指導担当</p> <p>中学生の大部分は放課後に部活動を行っています。一部の部活動に入部していない生徒については、習い事や自宅で趣味に没頭したり、自らのペースで過ごしています。また、図書室は、部活動や職員会議の場として使用することがあります。居場所の一つとして、是非とも読書や学習に適した環境が確保されている、町の総合図書館や公民館を活用してほしいと考えます。</p>

<p>や学校の開放をしています。町にはすごく良い図書館があるのですが、遠い所もあるので、学校をうまく使えたらどうかというお話があったので、町長に提言させていただきます。</p>		
<p>【公園の増設】 さむかわ中央公園はすごく良い公園だと思います。一之宮や倉見にも公園がありますが、岡田地区には広い公園が無いです。岡田だと寒川駅前公園で、昼間に年配の方が集まるのに良いが、遊び場としては少し狭いです。ぜひ町長も岡田在住ということで、岡田にも良い公園があるといいなと思いました。</p>	<p>茅ヶ崎市の里山公園は、県立公園で規模も大きく、市町村の作る公園のレベルではないという部分もあります。里山公園は、広大な敷地の中に豊かな自然があります。町はコンパクトな町域のため、県立公園を作るスペースはないですが、それに代わる町らしい、子どもたちが自由に遊べる空間をこれからも検討していきたいと思います。</p>	
<p>【子どもの居場所】 子育ては終わったのですが、自分の経験として、寒川の公園にはほぼ行ったことがない。茅ヶ崎の里山公園、海老名の三川公園と運動公園など遊具が充実している所に行っていました。遊具が壊れると撤去し、それ以降作らず、遊び場が限られてきたと思います。公園の時期が終わり、学校に入って教育の問題。学童も入れなかったので、海老名の学童に入れさせてもらいました。そこで勉強していたのですが、母親からすると、教育がしっかりしている所に子どもを預けたいというのが一番だと思います。子どもからすれば、遊ぶところが多いのが一番ですので、学校が終わって、学校内で教育を受けられる。学校の先生は忙しいとしても、学生などを集めて無料で教えてあげる場を設けてもらいたいです。事情があり、塾に行けない家庭もたくさんあると思います。そういう子も勉強できる場が必要だと思います。そうすることで、塾にも通う必要がなくなり、能力がある子、少し勉強すればできる子がたくさんいると思います。だけど、塾に</p>		

<p>通えないから、自分の目標とする職業に将来就けなかつたり。小さい頃の学校教育だけでなく課外授業なども充実すると良いと思います。</p>		
<p>【市街化調整区域の開発】</p> <p>私の住む近隣に一之宮愛児園、南小学校、寒川高校があり、周りは市街化調整区域です。市街化調整区域の一部に愛児園、小学校、高校がある地域に、多くの方が新しく家を構えて、お住まいになっています。今まで農家だった家のご息ないし娘さんたちが、農家を続けられないと農地転用し、駐車場と資材置場にするため、今年に入ってから開発しています。開発される中で一番の問題は、愛児園の駐車場が田んぼの中にあるのですが、車で来園する保護者は駐車場から歩いて愛児園に行きます。この道路は一方通行ですが、非常に長い塀ができています。この奥から、お子さんが出てくるのですが、大変見にくい場所になっています。園長とも話したのですが、この塀が建ったのが去年の暮れで、何のお話も愛児園に無く、突然建ってしまったそうです。ご配慮のある建築会社であれば、フェンス等で見やすく作っていただけたかと思いますが、高さ2メートル、約30メートル続く塀が建っています。電信柱と電信柱の間が全てふさがれています。</p> <p>ここは通学路です。一方通行の車がこちらに向かっていく時に、お子さんたちは学校に向かって、入違います。ここは用水路のため、少し道が余っていて、そこを歩いて通学するのですが、実際には大変見にくく、住民の要請でやっと町にカーブミラーをつけていただきました。考えてくださる業者であれば、フェンスやカーブミラーで見やすくしてくれるはず</p>	<p>交通安全関係ですと町民安全課、道路の利用については道路課が該当します。本来フェンスにしていたければ、見通しが良くなることを、何故そのような塀を建てたのか分かりませんが、中を見せたくないのか、土地利用、単なる資材置場だけなのか、詳しい話をまずは町民安全課が窓口となり、詳しい状況をお伝えしたい。相手の事業者にもお話を伺い、全てが事業者、土地の所有者の自由ではなく、周りに対する影響が良いものではありませんし、非常に重要なエリアですので、注意深く、担当課に確認します。</p>	<p>農政課 農政担当</p> <p>農地の耕作に影響がある場合においては、農政課より事業者に対しまして協力をお願いしております。</p> <p>環境課 環境保全担当</p> <p>ドッグランの設置については、環境課で規制できません。</p> <p>道路課 管理担当</p> <p>道路課としては、開発や農地転用について協議がされたものについて、見通し不良とならないようお願いベースではありますが指導を行っております。通学路については、学校、教育委員会、町民安全課、道路課、茅ヶ崎警察署が共同で実施している合同点検にて、通学路の安全確保等、様々な改善案をいただいたなかで道路の補修や改良を進めております。</p>

だと思えます。皆さん安心してはいるようですが、お子さんに気を付けなさいと、いつもお話をしているそうです。駐車場から見ても、高い壁になっており、見通しが悪い。なぜ急に建ったのか。

去年まで民生委員をしており、そういうお話を伺う立場にありました。市街化調整区域、農地転用ということもあり、農政課にお伺いしました。しかし、農政課では「駐車場の許可を出すことはできるが、この上に建つ構造物に対しては、一切関わり合いを持ってません」と言われました。でも、今後、一之宮小学校が小谷小学校と一緒になるという話も聞いており、ここが通学路になります。

南小学校側、景観寺から真っすぐ入った道ですと、「お子さんがおります」という看板、標識を付けてくださっていますが、この通りには付いていません。一方通行なので、産業道路に抜きたい人たちで混むと、抜け道へ曲がります。一方通行の道へ入ります。そこにはっきりと、止まれと矢印だけでなく、「行ってはいけない」という標識が必要。近隣の方々も、お子さんを見ていて、危ない場面がある。市街化調整区域では、たくさんの調整が始まっています。駐車場、資材置場、そしてドッグラン。園児の駐車場前に、ドッグランができるという話にもなっています。市街化調整区域を今後、町としてどうしていくのか。お子さんたちを守るためにも、道路標識などをしっかりと見定めていただきたいと近隣の住民からのお願いです。

<p>【部活動の指導者】</p> <p>中学生の部活で、顧問を外部から呼ぶという話がありましたが、町はどうなっていますか。</p> <p>(町長の回答に対して)</p> <p>体罰が話題になっているので、素人では不安です。例えばテニスができるのと指導をするのは違うと思います。</p>	<p>指導者については、教員の多忙化もあり、各部活動に常に付き添うことが難しくなっているようです。若い先生が多くなっており、経験があるOBの先生にも協力いただいています。それでも指導者が足りないところは、一般の経験のある方に、町からお願いし、指導をしてもらっています。まだ全部に指導が行き渡っている状況ではないですが、これからもっと増えてくると思います。</p> <p>(参加者の意見に対して)</p> <p>誰もが指導者になれるということではありません。中学生になると、それなりの技術レベルですので、指導ができる人が必要です。単にそこにいてもらうだけでなく、指導できる資格や、今までの経験を生かせる方をお願いしています。</p>	
<p>(コーディネーター)</p> <p>今後、中学校も地域移行ということで、国の方針も出てきている。そういったことを、町長も踏まえて、地域の方を活用されていくと思います。</p>		
<p>(町長の回答に対して)</p> <p>中学の先生がやった事のない部活の顧問をしていると聞いたことがあります。それでは指導にならないと思います。</p>	<p>今までは、先生方に見てもらいしかなかったですが、それだと先生の多忙化は改善されないで、地域の皆さんの力、地域に協力いただき、経験のある方に関わっていただきたいと思っています。</p> <p>(参加者の意見に対して)</p> <p>現実はそのようになりますが、子どもたちが一番困るので、そうならないように対応しています。</p>	
<p>(コーディネーター)</p> <p>歩道はすぐ作れず、経費がかかってしまうので、グリーンベルトを引き、緑色を塗って対策しています。近隣市だと、公園問題も出ており、障がい児も楽しく遊べるようにインクルーシブ公園を導入するなどあるので、現場の皆さんの声でいろんな形にすることで、より住みやすく子どもたちにとって安心、安全で、笑顔あふれる町になると思います。</p>		

②安全、安心に暮らせるまちを作るために ～協働して出来ること～

参加者	町長	懇談後の所管課の 確認・補足
<p>(コーディネーター)</p> <p>2つ目のテーマ「安全、安心に暮らせるまちを作るために ～協働して出来ること～」について、こちらも1人2分以内でご発言をお願いいたします。</p>		
<p>【危険個所の情報発信】</p> <p>一番気になるのは通学路です。交通の問題と児童の問題は、子育て世代としては気になります。対応、対策については、費用の問題もあり、すぐにやりたくてもやれない事が多くあるのは、町民目線からも分かります。その中で、危険な場所や事故があった場所についての情報発信を、町や学校からしていただけるとういと、考えています。</p> <p>私の実家近くに最近、建て売り住宅が、多くできた所があり、そこに住む方たちとの世間話の中で「あそこの交差点、信号ないけど、車通りが多い」「通学路のここが危険」という話をしますが、町外からいらっしゃった方だと分からないので、もっと発信する機会や場所があると、より安全な対応につながる。本当は、対策していただくのがありがたいのですが、一朝一夕にできるものではないので、情報の発信や共有をしていくことで、より安心、安全に暮らすことができると思います。</p>	<p>通学路の安全確保。毎年、行政の各課が地区を分け、町職員が町内の危険箇所がないか確認、また、通学路の安全点検をしています。教育委員会、学校の先生、PTAの協力もいただきながら点検し、危険だと思われる所については、報告が上がってきます。そこで必要な措置、例えば、普通に歩いてつまずいてしまうような所は直さなくてははいけませんし、安全が確認できず見通しが悪い所は、どうすれば安全確保ができるか対応しています。</p> <p>毎年行っているのですが、数が減ってくると思うのですが、新しい状況が出てくる。家が建つと、今まで安全だった所が死角になることもあるので、毎年繰り返し点検しています。</p>	<p>道路課 管理担当</p> <p>学校、教育委員会、町民安全課、道路課、茅ヶ崎警察署が共同で実施している合同点検にて、通学路の安全確保等、様々な改善案をいただいたなかで道路の補修や改良を進めております。</p> <p>その他にも道路課として、職員や委託による町内の定期的なパトロールにより、道路の穴や段差等の危険な箇所の点検や補修を行い、安全な道路の維持管理をしております。</p>
<p>【近隣住民とのつながり】</p> <p>ご近所付き合いが一番大事だと思います。例えば「旅行するから、その間見ていてね」「何かあったら誘って」「ごみ当番だから」といった世間話をしま</p>	<p>近所付き合いの重要性について、自治会の加入率は、年々下がっております。広いエリアは加入率が5割弱になっています。これが広がってしまうと、自治会に入っているメリット「何で自分たち</p>	<p>町民協働課 協働推進担当</p> <p>自治会の役割は、ごみの問題や近所づきあいだけではな</p>

<p>す。隣が泥棒に入られる事がありました。隣が泥棒に入られる事がありました。もっと日頃から仲良くしていれば、防げたのではないかと思います。実際に隣は買い物をしている間にやられたそうです。私は、人が来たのを見ていたが、お孫さんかと思ってしまいました。</p> <p>自治会に入っていない人は、どういう事なのでしょう。自治会に入っていないならごみ出し駄目って言ったら、役所で「税金払ってれば良いです」と言われ、その人はほら見ろという感じです。その辺が納得いかない。</p>	<p>が入っていないか」と、考える方も出てくる事が懸念されます。自治会加入は強制では無いですが、促進しています。入らないと、結果的に自分の周りの危険度が増すことにつながります。</p> <p>災害が少ない町だからこそ、必要性を感じにくいと思いますが、今までの災害時の状況を見ていますと、最初に協力できるのは隣近所です。行政や公共機関が手を貸せるのは、時間が経過した後なので、まずは近所、「向こう3軒両隣」と言いますが、隣の関係が非常に希薄になっていますので、隣同士が声をかけ合い顔見知り、あるいは、普段から交流があれば、不審者は近づかない傾向にあると、警察でも言われています。</p> <p>信号の設置や規制線、あるいは危険な場所にはポールを立てる必要があります。これは公安委員会が決めますが、対応が遅いと感じます。道路規制線が不鮮明で見えなかったり、消えていたりしている所もあるので、改善するように、県でも今年から対応する動きが出ております。安全性の確保、自治会加入、共に大事な事です。私も今回、選挙で常々お話ししましたが、行動に移せるよう、具体的なものをお示ししていきたい。</p>	<p>く、地域の繋がりを深め、いざというときに助け合えるような顔が見える関係性を構築することです。</p> <p>自治会への加入は任意ですが、災害時以外でも地域で生じる課題を解決するために必要なことと考えております。ご自身の周囲における安全・安心で快適なまちづくりを促進することに繋がります。町では毎年9月を自治会加入促進強化月間と位置づけ、加入促進チラシの配布や、本庁舎1階デジタルサイネージにて動画の放映を行っております。引き続き、自治会長連絡協議会と連携し、自治会への加入促進を進めてまいります。</p>
<p>【近隣住民とのつながり・交通安全】</p> <p>自治会の活動が大事。地震の時には、自助、共助、公助と言われ、そういうことによって助かった事例が多々ありますので、安全確保のためにはご近所付き合いが大事だと思います。維持するのは大変なことだと思いますが、色々な取組を含めてやる必要があると思います。交通事故について、今年4月に、自転車のヘルメット着用が義務化されました。強制では</p>	<p>自転車のヘルメットの着用について、町は一定額ですが、補助をしております。ヘルメットを着用されている方は非常に増えてきていると思っておりますが、まだ完全ではありません。小学1年生の入学時に黄色い帽子をプレゼントし、登下校にかぶってもらっていますが、寒川町、茅ヶ崎市の子どもたちは、藤沢市と違い、あまり被っていない。藤沢市は各学校によって帽子の色も違い、本当に徹底しています。町は小学校1年生の1学期から2学期頃までは帽子を被っていますが、2年、3年になるとほ</p>	<p>町民安全課 防犯・交通安全担当</p> <p>自転車用ヘルメット購入費助成を令和5年7月から実施しており、令和6年2月末までに345件の補助を実施しております。</p>

<p>ないため、ヘルメットをしている人はほとんどいない。事故が少ないせいなのかもしれませんが、そういう事に対する取組をもう少し強めても良いと思います。</p>	<p>とんど被っていない。保護者の方へ、黄色いと車からも目立つし、歩いてきても目立つので、自分の身の安全のために被ってほしいとお伝えしていますが、それも十分伝わり切っていません。学校の先生が指導するよりも、学校側から保護者にぜひ伝えてほしい。</p> <p>交通事故について、様々な危険箇所点検をしている中で、ここに信号機や一旦停止の路面標示があればという意見が出てきます。しかし、全部県の公安委員会の所管です。</p>	
<p>【行政の対応】</p> <p>協働という文字が、町民にとっては分かりにくい。「共に働く」と考えると身についてきました。実際に協働で、共に町をよくしようという考え方を表現すると、行政は色々な連絡をしてきます。その内容を町民側に対し、もう少しはっきりと表現していただきたいと思えます。例えば環境で考えると、目久尻川をある団体がきれいにし、アユが来て、人が散歩できる遊歩道をと作っていますが、川は県の管轄になり、目久尻川に大きなごみが1個あったら、それを取り除くのにはすごい時間がかかる。町が勝手に取り除く場所では無いため、もう少しストレートに動いていただき、安心、安全のまちづくりの考え方を持っていただければと思います。</p> <p>行政の方が一生懸命おやりになっているのは、町民として十分分かっているのですが、自分たちが一生懸命やっている仕事を町民たちにもっとアピールし、遠慮なく見せて欲しいです。例えば「ごみが落ちていて</p>	<p>川のお話が出ましたが、管理区分について、道路標示は公安委員会です。ですので、市町村はここしかできません。そういう縦割りの部分が国、県。県と市町村は、広域自治体と基礎自治体で、規則や法律で規定されています。本来県がやるべきものを、町が自らの財源で対応してしまうと法律違反になってしまいます。それはおかしいと、各地区でも声が上がっています。その地域の方の安全を守るためにやるべき事なので、本来は基礎自治体がやるべきだと話しています。職員の行動の内容をもっと町民に知ってほしい、知らせるべきというお話について、確かに必要だと思います。「自分たちがこういう事をやっています」と言うのが、職員は恥ずかしいのか分かりませんが、あまり出さない部分があります。お気付きの方もいらっしゃると思うのですが、毎月、役所の前の県道から駅に向かって道路の植栽帯、あるいは歩道部分の清掃活動を職員がしています。必ず写真付きで、これだけのごみを収集しましたと報告し、各課、確認し合っております。例えばこの区間は総務部、ここは教育委員会と決まっているので、そこが汚れていたり、草が出ていると、どこがやってないかすぐに分かります。そういう報告も毎月確認しております。役所の</p>	<p>町民協働課 協働推進担当</p> <p>協働という言葉については、「同じ目的のために対等の立場で協力して共に働く」という意味があります。この協働の概念は日本の地方自治の分野において、まちづくりの取り組みに必要なものです。</p> <p>協働の取り組みは、地域の課題解決に向けて、行政単独では解決できない問題がある場合、または住民だけでは解決できない問題等がある場合に、相互に不足を補い合い、協力して課題解決をするためのものです。</p> <p>また、職員の行動が協働につながっていることを理解してもらうために、職員対象の協働研修を実</p>

<p>みんなが拾っている」「どこが悪かった」というときに、すぐ作業着を着た行政の人が車で来て、確認し、そういうことを一生懸命おやりになっている姿を、我々にもっと見せて欲しいと思います。</p>	<p>職員間だけでなく、きれいな町は誰もが望む事だと思うので、そういったこともアピールし、地域の皆さんにも参加協力がいただけるようにしたい。花植えボランティアという活動を、毎月役場の前と、駅の方に向かう植栽でしています。ライオンズクラブ中心に、いろいろな団体、中学生にも時折参加していただき、手入れをしております。ただ、どこがやっているからお任せではなく、自分たちができる事は自分たちの責任の範疇で、継続できるようにやればいい。それがまさに協働という、協力して動こうという部分ですので、その辺の意味合いも含めて、先ほどの寒川町の歌ではありませんが、基本的な部分を知ってもらい、アピールしていかななくてはと思います。</p>	<p>施しております。ボランティア団体の活動について、SNSや広報、デジタルサイネージを活用し周知をする等、町としても協働の推進を行っています。</p> <p>環境課 環境保全担当</p> <p>職員による町内清掃活動の町民への周知については、その内容や周知方法について今後検討していきます。</p>
<p>【街灯の設置】</p> <p>町で今、スマホで「ピカリ」といって、明かりを灯す事をしていると思いますが、夜、暗いと不安で、防犯上も良くないので、昨年度、私が自治会長の時に、岡田地区に防犯灯、電信柱につけるライトを申請し、たくさん設置していただきました。自治会に申請の依頼が来て、それをつけたら地域の方から「明るくなってすごく安心した」という声があった。許可を取ったり難しかったのですが、それをやったら「明るくなった」「ここにも欲しい」という声を、今年もいただきました。広報などにもあるのですが、もう少しアピールすると、町民の方から伝えやすく、要望しやすい。自治会だけだと自治会に加入していない方が、5割、6割というところで、半分ぐらいのところには自治会としてもアプ</p>	<p>防犯灯は従来に比べると、予算の中でも設置可能灯数を増やしています。町でも開発工事が多く、その指導条件の中に防犯灯は入っています。従前は道路照明もあったのですが、社会環境が変わってくると、防犯灯に切り替えざるを得なくなってきました。町内の防犯灯は全部LEDに変えており、自治会から町に申請が来て、つけましようという最終判断をしますが、これは自治会活動の効果です。それを町民に知ってもらいたい。自治会活動、あるいはごみの問題も、自治会があることで環境がよくなり、自分たちの生活の状態が改善されていくと思います。それをもっとPRしなくてはいけないと思っています。周知だけでなく、PRが足りない。自己評価してもいけないと思っています。こういう行動をしたからこうなったという、プラス面を考えなければいけないと思います。</p>	<p>町民協働課 協働推進担当</p> <p>地域にお住まいの方から町内会へ、町内会から自治会へのご意見が集約され、行政へお伝えいただけることが、自治会の大きな役割であると考えております。多くの方に安心していただけるまちづくりを進めるためにも、自治会への加入促進を進めてまいります。</p> <p>町民安全課 防犯・交通安全担当</p> <p>防犯灯の設置要望については、自治会毎にまとめていただいてから、お伝えし</p>

<p>ローチができないので、そうしていただけると、安心のまちづくりになると思います。</p>		<p>ていただいております。令和5年度は10灯、令和4年度は27灯設置いたしました。</p>
<p>【災害への備え】</p> <p>避難所の運営について、自助、共助、公助のお話もありましたが、大きな災害があったときに公助として行政は人数が足りないと思います。地域の近所付き合い。自分でやらなければいけないところから、近所付き合いになると、共助の部分も大事だと思います。自治会が避難所の運営に対し、自衛組織を作っているのですが、機能するのか、実際やっても不安です。大きな災害が起きた時に、公的な機関からの助けだけでなく、自治会の自衛組織、避難所運営について、一部の地域で防災訓練や防災センターのセミナーがあるのですが、現場で会員の方が来てやる事が見えないし、自治会としてもその動き方が難しいと思うので、行政と自治会と協働でつながりを作り、災害に備えられたらいいなと感じています。</p>		<p>町民安全課 災害対策担当</p> <p>災害時の公助については、災害の規模が大きくなるほど行き届かなくなる可能性が高くなるため、出前講座等の場を通じて、自助・共助の重要性を呼びかけております。</p> <p>また、共助の取組みを強化するため、自主防災組織の活動における防災資機材の購入費の一部を補助し、自主防災活動の強化を図っているほか、訓練の際には、要請に基づき、町職員や消防団員が防災講話や消火訓練などを行い、災害時に素早く的確な対応が取れるよう指導を行っておりますので、積極にご活用いただき共助の取組みの強化に努めていきたいと考えております。</p>

【ごみの集積所】

ごみの集積所が、カラスとかに荒らされ、ほとんど毎回ごみが散らばっている状態です。自治会に入っていない方も出せませんが、片付けは誰がやるのかとなります。近所や自治会に入っている方が率先して片付けている状況があり、自分だけ入らなければいけないのか。ごみ当番があり、入っている人が大変です。皆さん協力してという言葉が通用しないので、個々の家の前にごみを置き、回収いただくのが一番だと思います。海老名市や藤沢市も戸別収集です。そういう方向でやっていただかないと、今後集積所や皆さんが使うところが偏ってしまう。この人は片付けるけど、この人はやらないのにごみだけを捨てるといのように。ですので、個々にお願ひしたい。

(町長の回答に対し)

集積所を借りて、そこに皆さん置いてあります。他の所よりすごく広いので、可燃ごみの時に、洗濯機などいろんなごみが出され、だんだんひどくなっています。危険だったら、怖い。ネットがしっかりと閉まっていけないのもいけないのかもしれない。

(町長の回答に対し)

そういったものを自治会でも、もっと町に進めていただきたい。結局、近所の人だけが迷惑してしまいます。

(参加者の意見に対して)

該当のごみ集積所は、スペースだけがあり、ネットがあって、集積所に置く形ですか。

(参加者の意見に対して)

組立て式のネットの箱は効果があります。私の地域の集積所もスペースがあるため、手で被せるネットでしたが、色々なことがあり、変更になりました。最近のカラスはネットも開けますので、パイプで囲った組立て式のネットの箱に変えてからは、全然汚れなくなりました。

(参加者の意見に対して)

組み立て式ネットでごみ集積所をきれいに使ってもらえれば、不法投棄することもなくなってくる。自治会に入ること、今週何曜日に何を出して良いと分かるので、町から周知、情報提供はしているのですが、自治会の加入率が低いと守り切れない部分があります。環境課は、ごみの収集について、方法を検討し

環境課

資源廃棄物担当

戸別収集は各家庭の玄関先から収集するため、住民の意識が変わり分別が進むことで排出量の削減が図られることが期待できるものです。また、更なる排出量削減という意味で、戸別収集をしている自治体の多くは、ごみ処理の有料化として102円という金額設定をした指定袋を販売し、膨大にかかる経費の財源確保に努めています。カラスが散らかす、清掃が大変ということで戸別収集を実施することになると、集積所が荒れないよう利用者の皆様で協力し様々な工夫をしている方々や戸別収集は必要ないと考える方々にまで財政的な負担を求めることとなりますので、現時点においては戸別収集を実施する考えはありません。地域の自治会員だけでなく、利用者の皆様でカラス対策などについて協議していただき、集積所を分割したり、ネットボックスを購入するな

<p>(他の参加者からの補足)</p> <p>自治会のお話が出たので補足します。ごみのネットの設置の件で、自治会から設置していただくような話があったと思いますが、各自治会で考え方が違い、補助金を出したり自治会が買うなど。使用者が地域の方なので、自治会加入が半分しかない。「何で自治会が負担しなくてはいけないのか。自治会費はみんなの積立てで、入っていない人の予算分もやらなくてはいけないのか」となります。ネットは良いのですが、自治会が設置しているところもあるし、自治会が設置するのではなく、近所でお金を出し合い買っている地区もあります。各地区の自治会で考え方や補助の出し方は違うと思います。</p>	<p>ています。</p> <p>自治会ごとに衛生指導員もいらっしゃるのですが、指導員さんも毎回立ち会うのは大変です。そういった部分で自治会から抜きたいという声もあり、昨年このまちづくり懇談会でも同じご意見がありました。</p> <p>それから環境課がより良い回収方法を検討しており、令和7年度から実施を予定しております。今後、「ごみの収集方法が変わります」と周知しますので、ご覧いただければと思います。</p>	<p>どの対応をお願いします。</p> <p>環境課 資源廃棄物担当</p> <p>令和7年度から収集方法の変更を行います。</p> <p>「収集日程の変更」、「資源物置場の廃止」、「分け方・出し方の変更」について、令和6年7月に各自治会への説明会をスタートし、順次各地区で住民説明会を開催してまいります。</p> <p>町民協働課 協働推進担当</p> <p>自治会は任意団体であり、自治会ごとに活動内容や事業内容もそれぞれ異なっており、予算の使い方も様々です。地域の声を自治会に反映し、より良い地域づくりにつながるよう町は助言をしてまいります。</p>
--	---	--

【市街化調整区域の開発】

塀を作られて、塀の向こう側は資材置場です。こちら側がドッグランになるということで、このドッグランは申請を今年中に出し、来年5月のゴールデンウィークにはスタートすると伺いました。ワンちゃんたちが遊べるプールを作り、夏場は夜の9時ぐらまで、電灯をつけ、営業するとのこと。ドッグランが出来た際に挨拶に来られました。近隣にあまり家がないとはいえ、ワンちゃんの鳴き声やフン尿、抜け毛の問題、周りを散歩される時にマナーを守ってくれるのか。真ん前が保育園の駐車場です。万が一、犬が離れた時に噛みついたらどうするのかという問題も出てくると思い、愛児園に聞いたところ、「そんな話は聞いてない。子どもに対する対応はどのようなだろう」と言われました。資材置場の隣が、ドッグランの砂利道になっています。遠くから見ると一角ですが、コンクリートミキサー車が置いてあります。置いてあるのは良いですが、砂利敷きなので、南風が吹くと、近隣にほこりが飛んできます。夏場、今まで「田んぼの風を浴びて気持ちいい」と言っていた方が、今年は窓を閉めてエアコンをかけ、電気代が上がったと言っている状況でした。

もう一つは、防犯灯。ここの防犯灯が真夜中、煌々とついています。奥の家の方は不眠症になりました。農家は田んぼの稲作が電気がついているために、伸

農政課 農政担当

農地の耕作に影響がある場合においては、農政課より事業者に対しまして協力をお願いをしております。

環境課

環境保全担当

ドッグランの設置については、環境課で規制できません。犬の鳴き声やフン尿の始末の問題、もしくは万一の咬傷事故などが発生した場合は茅ヶ崎市保健所と連携し設置者及び飼い主に指導していきます。

道路課 管理担当

道路課としては、開発や農地転用について協議がされたものについて、見通し不良とならないようお願いベースではありますが指導を行っております。

びっ放しで実がつかない状況が、今年起こりました。農家から「本当に困る。食いつぶされる」という話を伺いました。

1週間前に、2か所とも同じ業者が測量をしていました。何かできるのかお聞きしたら、「駐車場、または資材置場になる」と軽く言っていました。ここは、相互通行であり、車が入ってきます。また壁が作られた場合、見通しの悪い道路になってしまいます。お子さんが側溝を歩いて学校に行きます。帰りも側溝の白い線の上を、田んぼ側に落ちまいと歩いて帰る。町には、市街化調整区域の無配慮な計画に対し、条例やご指導をしていただきたいと思います。

田んぼには治水の役割があります。2021年7月に大変雨が降りました。この辺はジャブジャブになりましたが、田んぼのおかげで、水が広がらずに引いてくれました。農家からは「気を付けなさい。これだけ建ってしまったら、内水氾濫を起こすかもしれない」と助言されました。約1,500坪が、買収されています。

茅ヶ崎市の不動産会社が全て関わっているのでは、見比べさせていただき、県の合同庁舎にも行ってまいりました。お話を伺いますと、「そういうものを作る事に対し、許可したくないと、町でもしっかりと見定めてご指導いただきたい」というお話もございましたので、市街化調整区域等に関し、これからどうしていくのか、住民を守っていただきたいと切に思います。

(参加者の意見に対し)

県の合同庁舎で伺った部署は環境課ですか。

<p>(町長の質問に対し)</p> <p>農政と都市づくりに行っ てまいりました。環境課にも少し お話を伺いました。やはり、許 可の申請書が出る出ないの問 題もあるので、それが出ていな いということだと、来年1月 には出来るというように、この 方たちはすごいスピードで作 りますので、早急に対応いた だかないと、住民の生活に影響 が出ます。夜、電気をつけられ ると明るく、住民の方々も困 ります。砂利道はコンクリート にさせていただくなど、町で規 制をかけていただいた方がよろ しいと思います。</p>	<p>(参加者の意見に対し)</p> <p>それは大きな問題だと思います。今は その段階ですが、現に支障をきたして おり、環境に対する弊害が出てお りますので、安全、安心に暮ら せる町からは逆行している部 分が、お話を伺う限りでは見 受けられます。今まで町は、土 地の利用、特に市街化区域は別 ですが、調整区域については規 制がされていて、あまり変わ らない状況だったのですが、今 はその法の隙間を「これは大 丈夫」と出てくるのが資材置 場やドッグラン的なもの、車 の駐車場になってくるので、狭 いエリアではなく、子どもに限 らず、付近の皆さんの生活に 影響を与えますので、行政セ ンターに状況を確認しながら、 町では農政課と環境課の対応 かと思いますが、確認した上 で状況についてお話します。</p>	
---	---	--

フリーディスカッション

参加者	町長	懇談後の所管課の確認・補足
<p>(コーディネーター)</p> <p>テーマ1、2について、それぞれ皆さんからご発言いただき、町長からコメントをいただきました。残り時間が少しありますので、テーマ1、2に限らず、今日参加し追加などがあれば、1分程度でご発言いただければと思います。</p>		
<p>【猫のボランティアと民生委員の協力】</p> <p>町で猫のボランティアをしているのですが、その時に「餌やりさん」という役割の方がいて、お年寄りが多いです。猫のボランティアといっても、猫よりも人間との関わりが多く、1人でお住まいの、誰にも相談できないお年寄りの方が多いです。近所の方からも通報が来ないので、実際に地域に行き、お話しする中で活動しています。民生委員さんとも交流させていただきたいと、町の環境課に何度かお願いしたのですが、そ</p>		<p>環境課 環境保全担当</p> <p>民生委員も「庭に猫がいる」、「野良猫に餌やりをしている」という情報を把握しているかもしれませんが、その情報を猫のボランティアに教えてよいかというのは個人情報保護の観点から難しいと考えます。ただし、お年寄りなどから「猫が増えて困っている</p>

れはできないと言われました。個人情報等があるのも分かるのですが、ある程度共有できる部分はしていきたい。今、多頭飼育崩壊も騒がれています。そういう状況をなくすためにも、ここには動物がいてなどの話もさせていただいたら、飼育崩壊も事前に防げるのではないかと。横のつながり、近所付き合いが希薄になっているので、ボランティアや町で関わっている方と共有できる部分はしたいと思い、そういう時間を設けていただきたい。

民生委員さんは年に1回か2回、個人宅を伺うと思います。例えばそこに参加させていただくなり、町を通して連絡を取れる状況にできたら良いと思います。

(町長の質問に対して)

行っている中では何軒かあるのですが、そういう状況をもう少し把握できればと思います。

(町長の回答に対して)

庭にいて、猫が多いとか、そういう事は分かるのではないかと。そこに行って状況をお聞きして。私の活動は結構深い。「家族はこう」などいろいろなお話しをされるので、相談も受けたりします。その中で、そういう事を教えていただければ、そこに行ってお話しさせていただく事もできるので、共有の仕方もあるかと考えていただけたらと思います。

「庭に結構、猫がいた」くらいなら、誰が見ても分かる事だと思います。ただ、ご近所の方は、

のでボランティアを紹介してほしい」といった相談が寄せられた場合には、環境課を通して紹介することは差し支えないと考えます。

(参加者の意見に対し)

該当するお宅は、把握されていますか。

(参加者の意見に対し)

民生委員も個別にお話しするが、そこまでは出来ないと思います。猫や犬の対応までは範疇ではない。

(参加者の意見に対し)

新聞に記事が載るような状況になったら困ると思います。民生委員の管轄をしている課にお話しし、例えば名前を挙げるといふよりも、そういう状況がある場合に、情報としてどこまでお出しできるのか、福祉の担当に確認します。

<p>それを通報するかといったらしていただけない。</p>		
<p>【給食センターの活用】 給食センターができ、学校給食等をやっておりますが、その施設の利用について、今後のお考えはございますか。給食センターでは学校への給食を作りますが、給食を作る施設があるなら、とある時期に施設を使って物を作り、町として何かを売り出す。例えばおにぎり販売をするなど、再利用、二重の利用方法をするお考えはありますか。</p>	<p>学校給食センターは、9月から小中学校に給食を提供し、完全給食が始まって2か月余り経ちますが、その名の通り学校への給食を提供する場所。安全、安心な給食を作り、各学校に届けるのが主たる役割ですが、3階にはココロキッチンという、健康管理センターの2階のような調理施設の機能があります。今はまだ、学校給食を始めたばかりなので、他の目的で動かすのは、もう少し時間を見ようと思います。作業している人も今までの学校の厨房施設と違う新しい機械を操作されて、まだ戸惑いもあると見受けられます。</p> <p>ただ、3階のココロキッチンは、講義もでき、調理実習もできる施設です。試食するコーナーもありますので、いずれ活用したいと思います。ここからは、西の山々や富士山がよく見えるので、眺望が良いです。町営プール、テニスコートもよく見えますので、営業後の夜間に出来ることも、担当課で検討しているようですが、具体的に一般の利用、申込みができる状況は、しばらくお待ちいただきたいと思っています。</p>	<p>教育施設給食課 学校給食担当</p> <p>学校給食センターで食品を販売する予定はございませんが、学校給食提供の他、保護者向けの給食試食会や料理教室を開催するなど、食育の推進を進めてまいります。また、条例を改正し施設の貸し出しができるよう準備を進めてまいります。</p>
<p>【買い物ができる場所が少ない】 町は買物する場所が少ないです。買物をするなら茅ヶ崎市、平塚市の電気屋に行かないと、町には大きな買物をする場所が少ないという声がありました。市街化調整区域の中で、田んぼがあり、神川橋のとももそうですが開発すると物流センターなどは多いです。商業施設の誘致など、町を素通りせず買物でき、使ったお金も町に落ちるようなシステムを町長が</p>		

率先し、町のビジョンとして、魅力のある町になるというところで、観光も含む質問なのですが、寒川の魅力の発信をしていただきたい。

(町長の質問に対し)

平塚の田んぼの中に出来たような、複合的な商業施設を考えています。あそこは規模が大きいです、モール的な商業施設が少ないと思います。買物する場所が家電量販店にしても、町にはありません。

(参加者の意見に対し)

魅力ある施設の誘致ですが、飲食など食べ物関係以外ということでしょうか。

(参加者の意見に対し)

一応、買い回り品を買える所はあります。かなり出来てきたので、買物不便地域では基本的にはないと思っています。ただ、装飾関係や大手電気販売店などは、町にまとまってはない。非常にスペースを取りますし、調整区域にできる部分は、インターチェンジから一定距離のある倉庫というのが、基本的な要件になっています。ですので、それ以外の販売店は、市街化区域に編入し、かつ、土地利用計画を明確にしないとできない。今、町に検討エリアはありますが、具体的なものはこれから皆さんの意見、あるいは地権者の方の意見を聞かなければいけませんし、これから町だけで勝手に決めてしまう事は一切ないです。関係する方々との協議の中で決めていきます。そういう事業展開をする時は市場調査をやっておりますが、場所があってもすぐに手を挙げて来るようなところはありません。まだまだ魅力作りについて、発展途上段階ですので、これからは、選挙の時にもお話ししましたが、倉見のまちづくりの準備も進めなければいけないので、寒川神社周辺のにぎわい交流創出ゾーンの検討を進めなくてはならない。検討段階ですので、それまでに田端の寒川南一帯周辺の工業エリアを完成させ、企業に入ってもらい、にぎわいを作っていければと思っています。

感想

(町長)

最初のテーマである、子どもたちが輝ける町については、やはり教育関係のお話が多く、説明する側として教育委員会の者がいれば、もう少し深掘りしたお話もできたでしょうし、皆さんにもご理解いただけたと思います。事前にテーマから出席者を絞り込むことも難しいので、説明不

足もあったかもしれませんが、非常に参考になりましたし、我々自身も教育委員会であれば分かっているが、我々が知らないことも多分にあると分かりました。十分連携を取りながら進めていきたいと思っています。2点目の安全、安心に暮らせる町をつくるためについて、日頃からお伝えしていますが、いろいろな分野の皆さんが関連していると思うと、町も土地が動いてきている部分もありますので、状況を見定めながら、あるべき町の形を目指します。景観形成が大事ですし、土地の有効利用もしなくてははいけません。町に合った土地利用がありますので、今日のお話、行政側としても、まだまだ勉強しなくてはいけない点が十分あったとっておりますので、参考になりました。お返事をする方もいらっしゃるので、しばらくお時間をいただき、検討したいと思いますので、よろしくお願ひします。

(コーディネーター)

私は藤沢に住んでおり、引っ越しもあった関係で、自治会長を2か所で計6年やった経験があります。今も地元の町内会の幹事をし、皆さんの地域のお悩みを、私も切実に感じております。この間も町内会長の集まりで、講演させていただき、いろんな情報を取ってきたところもあります。もう一つ、まちづくり推進会議の会長をさせていただいているのですが、特に大きなテーマとして、協働についてやっております。協働というの、一般的には行政や企業などでやりますが、もっとブレイクダウンすると、地域や地域住民が町内会でお互いの顔が見える。そこができれば、上で協働も出来ないと思います。そういう経験から、造語でお互いに近く助けると書き、「互近助(ごきんじょ)」という言葉を使わせていただいています。災害時などに助けるということがあり、また挨拶運動の話も出ましたが、犯罪の抑止に挨拶が効いたということも紹介だけさせていただきたいのですが、公園で小さいお子さんが誘拐されそうになり、男性が手を引く。大人ですから、怖くて声を出せない。そのときに女の子がとっさにいろんな人とすれ違ひざまに、大きな声で「こんにち、こんにち」と言い出しました。そうしたら、その犯人は「この子は地域でよく知られている子だから、ここで連れていくと、自分が覚えられてしまう」と思い、手を離して逃げたことがあるそうです。挨拶をすることは、犯罪の抑止効果にもなるということです。事例として、本当に基礎的な挨拶がつながり、互近助になって町内会が活性化することで、町の協働がさらに発展的になると思います。

私もコーディネーターをしながら、皆さんのご意見から刺激を受けましたので、まちづくり推進会議でも情報やご意見をフィードバックし、良い形の協働のまちづくりの提言をまとめていければと思います。私も参考になりました。ありがとうございました。

(副町長)

町からの情報発信について、我々はしているつもりでもなかなか届いていないところも、今回お話いただいた中で実感させていただきました。学校関係のことで、「こうしたらいいのに」というものがあれば、教育委員会としては「いつでも言ってください」と言っているのですが、皆さんに届いてない。先ほど不登校のお話もありましたが、相談を待っていますが、それも実際伝わってない。それはやはり我々としても、しっかり発信していかなければいけませんし、町民の皆さんからの情報を町がいただき、それを町がかみ砕いた中で、再情報として発信していく。そうしたことが教訓につながっていくのだと、ご発言いただいた中で、それはそうだなと感じました。皆さんの声、いただいた意見を、町に、職員に、私からもしっかりと発信し、町の情報は町民の皆さんにお届けするのだと。その中で良いものを作っていきたいと思っていますので、これからどんどんご意見をいただき、我々もしっかりとお応えできるよう、対応してまいりたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。本日はどうもありがとうございました。